

2019.7.4 <計2枚>

京都大学記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

国際平和ミュージアム第125回ミニ企画展示
「ハンパク 1969ー反戦のための万国博ー」開催
会期：7月17日（水）～8月24日（土）
会場：国際平和ミュージアム 2階 常設展示室内

国際平和ミュージアムは、第125回ミニ企画展示「ハンパク 1969ー反戦のための万国博ー」を開催いたします。

ベトナム反戦運動や日米安全保障条約自動延長反対運動が熱を帯びていた1969年、真夏の大阪で「反戦のための万国博（ハンパク）」が開催されました。翌年に控えた大阪・千里丘陵での日本万国博覧会（大阪万博）に向けて盛り上がる世相に対して、「人類の平和と解放のために」を掲げ、自らの手で反戦と平和の文化を発信しようと、全国から多くの参加者が集まりました。平和を訴える新しい文化の拠点を生み出そうとする試みはそれまでにないイベントで、討論会、フォーク集会、映画上映、展示、パフォーマンスなど5日間にわたって夜通し繰り広げられました。

本展では、ハンパク開催に向けた呼びかけ記事、会場でリアルタイムに発行された「日刊ハンパク」、会場の様子を捉えた貴重な写真など約100点を展示します。ハンパクから半世紀の節目に、これらの展示資料を通して、ハンパクが社会に問いかけたものを振り返ります。

記

会 期：2019年7月17日（水）～8月24日（土）
会 場：立命館大学国際平和ミュージアム2階 常設展示室内
開館時間：9:30～16:30（入館は16:00まで）
休 館 日：日曜日（ただし8/4・11は開館）、8/12（月）
見学資料費：大人400円（350円）、中高生300円（250円）、
小学生200円（150円）
※（ ）内は20名以上の団体料金
※地階受付で見学資料費をお支払いください。
※7/29～8/4は第39回「平和のための京都の戦争展」開催のため無料です。
主 催：立命館大学国際平和ミュージアム
企 画：平和教育研究センタープロジェクト研究
「博物館の資料研究〈戦後社会セクション〉」



ハンパクの会場の様子

以上

●取材・内容についての問い合わせ先

立命館大学国際平和ミュージアム 担当：加藤、小森

TEL. 075-465-8151

<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/index.html>

【関連企画】

トークイベント「ハンパクがもたらしたもの」

関西ベ平連(※)を立ち上げ、ハンパクの運営にも携わった山本健治氏に、当時を振り返りながらお話いただきます。

※ベ平連・・・「ベトナムに平和を！市民連合」の略称。1965年に結成された、ベトナム反戦を目的とする市民運動の団体。

日 時：2019年7月20日(土)13:30～15:00

会 場：立命館大学国際平和ミュージアム 2階 ミュージアム会議室

登壇者：山本健治氏(フリーライター)

ファシリテーター：番匠健一

(立命館大学国際平和ミュージアム 平和教育研究センターリサーチャー)

※予約不要・参加無料、ただし展示見学には見学資料費が必要です。